

柴田町 スポーツ推進計画

(中期見直し)

令和4年3月
柴田町教育委員会

柴田町スポーツ推進計画の見直しについて

1 見直しの趣旨

平成28年度に策定した「柴田町スポーツ推進計画」は、計画期間を平成28年度から令和8年度までの11年間とし、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化に対応するため、令和3年度に計画を見直すことにしております。

この見直しについては、国のスポーツ基本計画の基本理念に基づき、新たなスポーツに関する施策と生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備について、推進することとしています。今までの施策の進捗状況を踏まえて「柴田町スポーツ推進計画」の後期分（令和4年度から令和8年度まで）の施策の方向性について見直すものです。

2 基本目標

新型コロナウイルス感染症の拡大によってスポーツの機会が失われ、その在り方が問われたことや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことにより、世界中の人々に夢や感動を与え、活力や勇気が感じられたことで、「スポーツ自体が有する価値」「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」「かけがえのないもの」であることを改めて認識しました。

このような社会情勢の中で、町では「スポーツ都市宣言」をしており、「スポーツの価値」を考えながら、引き続き「いつでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツを生涯にわたって活動できるよう環境を整備する必要があります。

施策の実施に際しては、目標達成に向けてその進捗状況や実績を検証するとともに、計画的に推進し住民と行政が連携・協働して、町の将来像である「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む花のまち」の実現をめざします。

3 基本方針 変更なし

4 計画の位置づけ 変更なし

5 計画の期間 変更なし

6 計画の構成 変更なし

計画の構成

施策の柱	基本方針	基本方向
<p>I</p> <p>子どもを中心としたライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p>	<p>1</p> <p>子ども世代の運動との関わりの多様化と運動能力の向上</p>	<p>(1) 幼年期の生活と運動</p> <p>(2) 少年期の多種多様なスポーツとの関わり</p> <p>(3) 体力・運動能力及び競技力の向上 (柴田高校・仙台大学との連携)</p>
	<p>2</p> <p>青年期以降の運動・スポーツ機会の保障</p>	<p>(1) 青年期以降の世代へ向けた運動の機会</p> <p>(2) 障がい児・障がい者とともに行う運動の機会</p>
	<p>3</p> <p>スポーツ・文化活動を通じた交流によるコミュニティの再構築</p>	<p>(1) 行政区単位のスポーツ事業の充実(多世代)</p> <p>(2) 近隣市町村民や諸外国民とのスポーツ・文化・国際交流</p>
<p>II</p> <p>スポーツ活動を支えるスポーツ環境の整備</p>	<p>1</p> <p>スポーツ関連組織体制の強化と各組織の連携</p>	<p>(1) 柴田町総合型地域スポーツクラブ(柴田町体育協会)の進展と中核化</p> <p>(2) スポーツ指導者等組織の再編成とスポーツ指導推進体制の強化</p> <p>(3) 各種スポーツ団体間及び地域団体とのネットワークの構築及び強化</p>
	<p>2</p> <p>多機能スポーツ施設等の効果・効率的な運用管理</p>	<p>(1) 既存体育・スポーツ施設の利活用</p> <p>(2) (仮称)柴田町総合体育館の建設と円滑な運用</p>

第2章 計画推進のための施策

I 子どもを中心としたライフステージに応じたスポーツ活動の推進

1 子ども世代の運動との関わりの多様化と運動能力の向上

(1) 幼年期の生活と運動

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none">・幼年期の子どもを対象としたスポーツフェスティバル in 柴田での事業の更なる充実。・総合型地域スポーツクラブ幼年期対象事業計画実施の支援。・幼年期の子どもの生活や運動の実態を把握し、それに見合った多様な経験の機会拡大。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・スポーツフェスティバル in 柴田は、令和元年度以降、水害や新型コロナウイルス感染症の影響があり開催していない。・総合型地域スポーツクラブでは、柴田町観光物産協会と連携を図り幼年期の子どもを対象とした「かけっこ教室」を実施している。
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・引き続きスポーツフェスティバル in 柴田での事業の更なる充実と総合型地域スポーツクラブの幼年期対象事業の支援を行うとともに、ニュースポーツ等を用いた親子事業への展開をめざします。・幼年期に、少年期以降の運動や生涯を通してスポーツを楽しむための基盤づくりを働きかける取り組み（様々な運動・遊びに挑戦できる事業）を実施していきます。

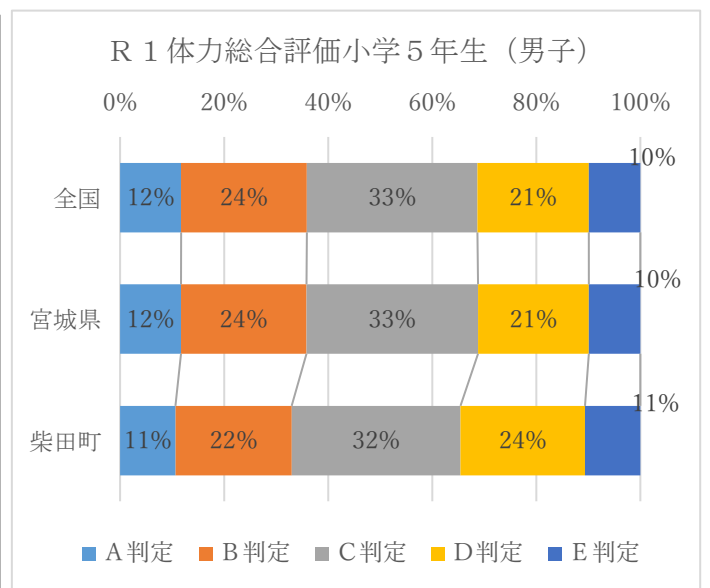
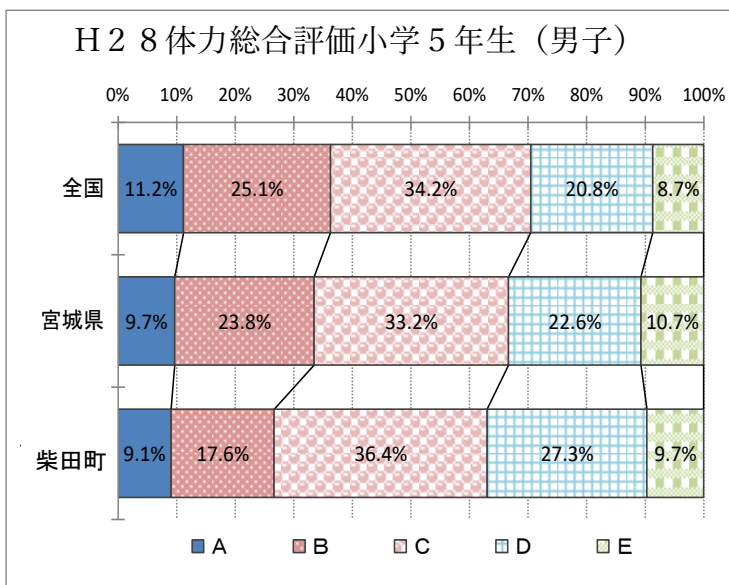
(2) 少年期の多種多様なスポーツとの関わり

<p>施策の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動をよくする児童・生徒としない児童・生徒の二極化現象が指摘されることから、まずは運動をあまりしない児童・生徒を少なくしていきます。そのために、運動実施の抵抗条件となっている施設・プログラム・クラブといったスポーツ事業の改善に努めます。 ・今後実施することを希望する運動やスポーツ種目には多様性が見られ、また現在実施している運動種目以外の種目への実施意向も一定程度あることから、そのような種目を体験・実施できる機会を設けていきます。
<p>現状・進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動をよくする児童・生徒としない児童・生徒の二極化がより深刻化している。
<p>施策の 方向性 (見直し)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が運動するきっかけとなるような講習会の実施やスポーツ指導者の養成事業に取り組みます。 ・令和5年度から段階的に運動部活動が地域に移行されることから、中学生のスポーツ活動の多様性にも配慮し、スポーツ環境の整備に努めます。 ・運動をあまりしない児童・生徒を少なくするために、運動実施の抵抗条件となっている施設・プログラム・クラブといったスポーツ事業の改善に努めます。 ・今後実施することを希望する運動やスポーツ種目には多様性が見られることから、体験や実施ができる機会を設けていきます。

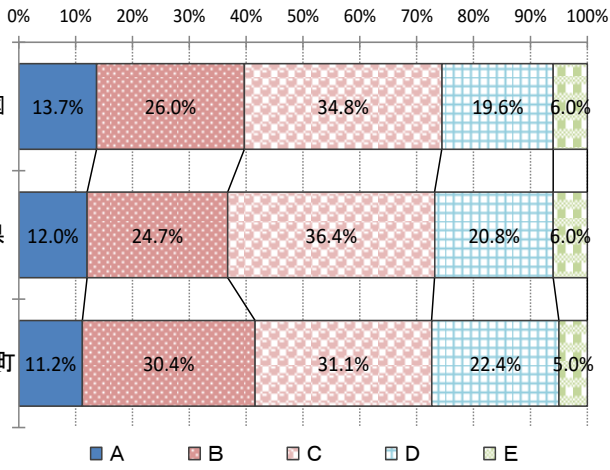
(3) 体力・運動能力及び競技力向上（柴田高校・仙台大学との連携）

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・幼年期および少年期における多種多様なスポーツとの関わりを重視した施策の成果として、中期的には宮城県の割合よりも A・B 評価者を増加させ、D・E 評価者を減少させることを目指します。 ・長期的には全国の割合よりも A・B 評価者を増加させ、D・E 評価者を減少させることを目指します。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年では柴田町の中学2年生男子と女子のA評価者がH28年に比べて増加している。
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がスポーツに興味を持つよう、柴田高校や仙台大学と連携した事業を展開します。 ・中期的には宮城県の割合よりも A・B 評価者を増加させ、D・E 評価者を減少させることをめざします。 ・長期的には全国の割合よりも A・B 評価者を増加させ、D・E 評価者を減少させることをめざします。

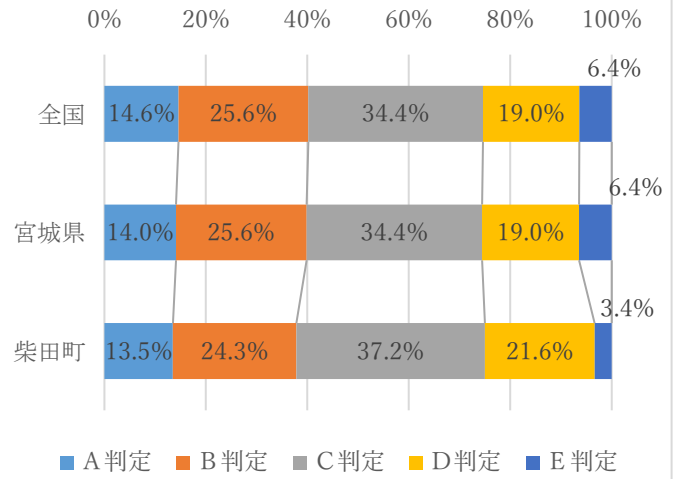
小学校期・中学校期の体力運動能力調査の現状



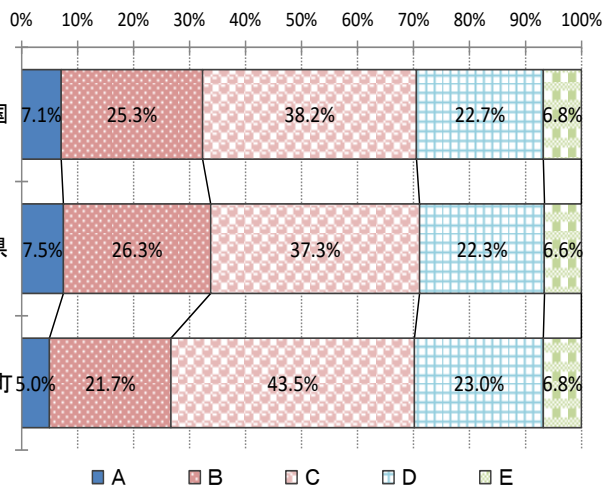
H 2 8 体力総合評価小学 5 年生 (女子)



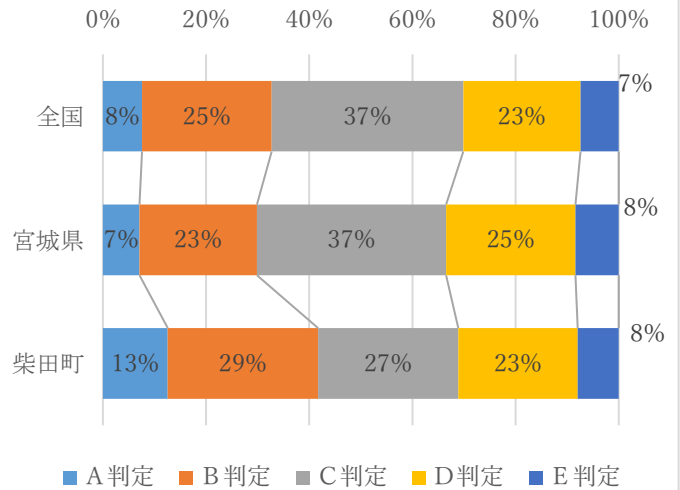
R 1 体力総合評価小学 5 年生 (女子)



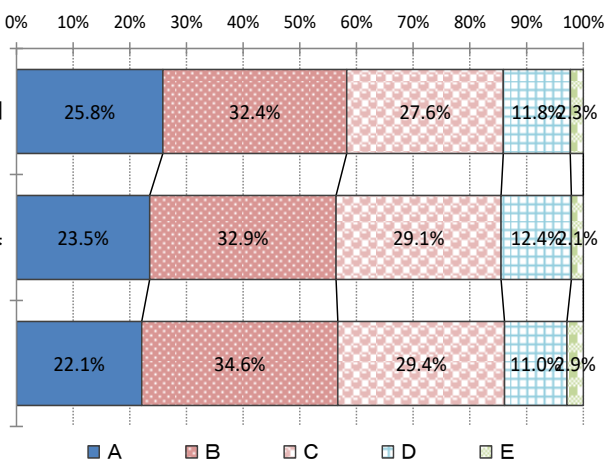
H 2 8 体力総合評価中学 2 年生 (男子)



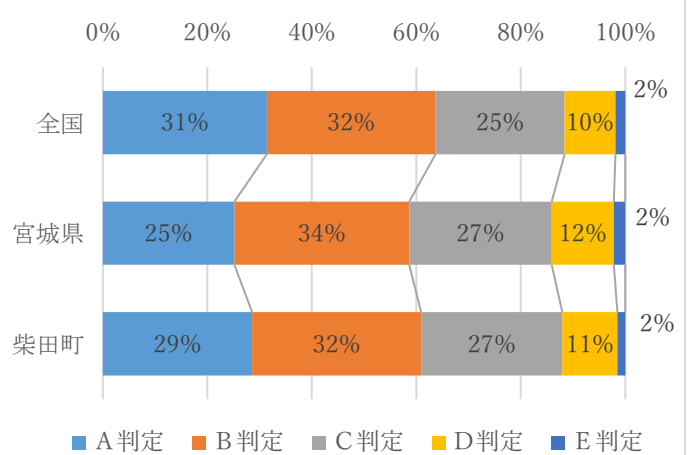
R 1 体力総合評価中学 2 年生 (男子)



H 2 8 体力総合評価中学 2 年生 (女子)

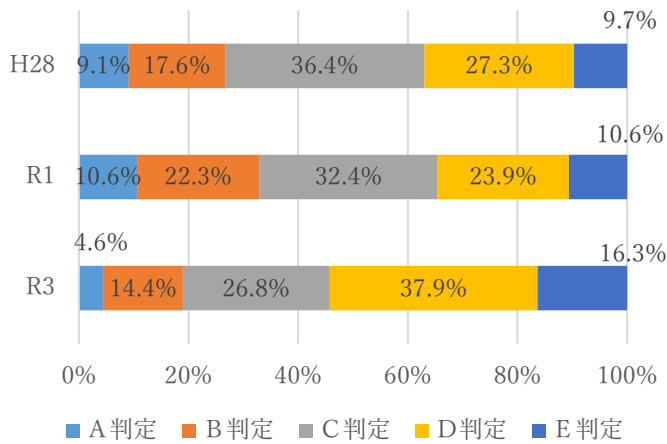


R 1 体力総合評価中学 2 年生 (女子)

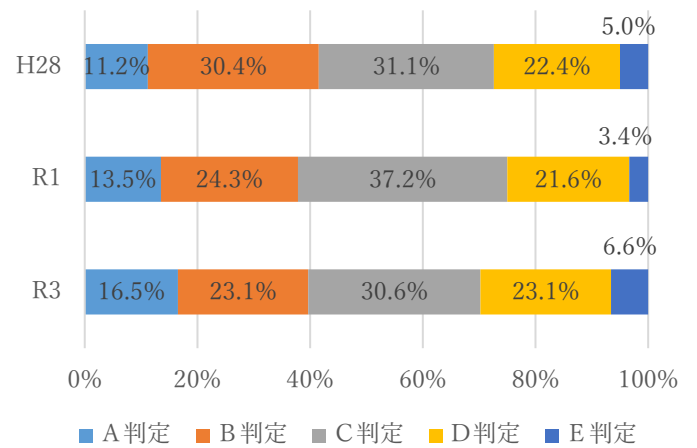


町内小学生・中学生の体力運動能力調査の推移

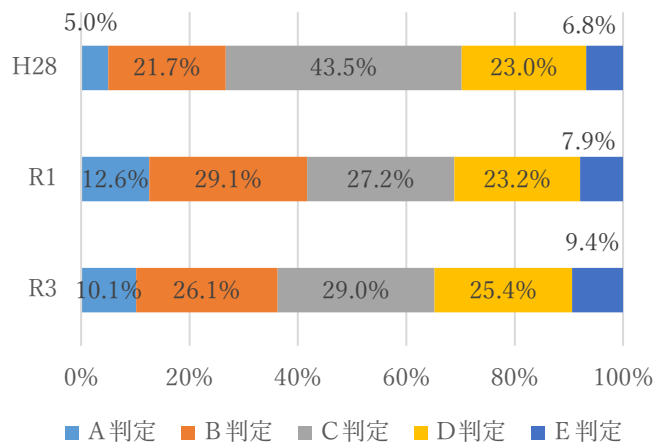
総合評価小学5年生（男子）



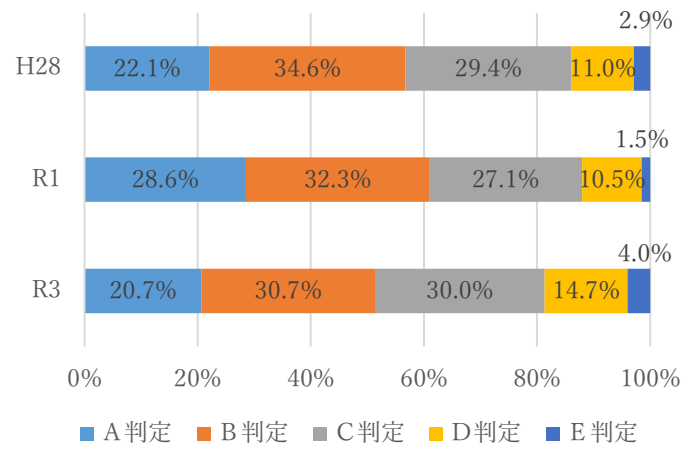
総合評価小学5年生（女子）



総合評価中学2年生（男子）



総合評価中学2年生（女子）



2 青年期以降の運動・スポーツ機会の保障

(1) 青年期以降の世代へ向けた運動の機会

<p>施策の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査に基づき成人町民（16～19歳を除く）の「定期的実施者」の割合を15.3%から25%以上となるよう目指します。特に、30歳代から50歳代の中年層への働きかけを重視すると共に、「きっかけがない」との理由で運動やスポーツを実施していない人も多く見られることから、広報紙やホームページなどで積極的に情報提供していきます。 ・今後の実施希望として多い「スイミング・水中トレーニング」や、若い世代や女性の実施希望が多い「バドミントン」も含め、それらの希望者に対するスポーツ施設の利用の便宜や指導者の配置に努めます。 ・現在実施している運動種目以外の種目への実施意向も「気軽さ」や「多様性」への需要はかなりあることから、柴田町総合型地域スポーツクラブの事業等を通して、そのような種目を体験・実施できるよう支援していきます。
<p>現状・進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、施設の閉館やスポーツ教室の中止等でスポーツ活動ができない期間があった。このため、運動をするきっかけづくりや習慣化が困難であることに加え、健康二次被害が懸念される。
<p>施策の 方向性 (見直し)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康二次被害の予防や運動の習慣化を目指すための土台として、運動しないことへのリスク及び運動することの大切さについて、周知を行います。 ・30歳代から50歳代の中年層への働きかけを重視すると共に広報紙やホームページなどで積極的に情報提供していきます。 ・柴田町総合型地域スポーツクラブの事業等を通して、様々な種目を体験・実施できるよう支援していきます。

(2) 障がい児・障がい者とともに行う運動の機会

<p>施策の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人が利用しやすいようにユニバーサルデザインを導入した総合体育館の建設及び施設整備に努めます。 ・ 柴田町総合型地域スポーツクラブの事業等に障がい児・障がい者が参加できるスポーツの機会の調整を図ります。 ・ 障がい児、障がい者が関与する既存・新規サークルの自発的活動につながるよう支援していきます。 ・ 障がい者スポーツの関係機関や障がい者スポーツ協会等が中核となり、連携・共同体制を構築し、人材や資源を十分に活用しつつ推進します。
<p>現状・進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未実施
<p>施策の 方向性 (見直し)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児・障がい者の運動機会についての情報収集や、関係団体等と情報共有に努めます。 ・ 柴田町総合型地域スポーツクラブの事業等に障がい児・障がい者が参加できるスポーツの機会の調整を図ります。 ・ 障がい児、障がい者が関与する既存・新規サークルの自発的活動につながるよう支援していきます。 ・ 障がい者スポーツの関係機関や障がい者スポーツ協会等が中核となり、連携・共同体制を構築し、人材や資源を十分に活用しつつ推進します。

3 スポーツ・文化活動を通じた交流によるコミュニティの再構築

(1) 行政区単位のスポーツ事業の充実（多世代）

施策の 方向性	<ul style="list-style-type: none">・行政区毎、あるいは行政区対抗のスポーツ事業の実践を通してコミュニティの再構築に努めます。・幼少年期、青年期、中年期、高齢期とあらゆる年代向けのスポーツ事業を展開するとともに、多世代の交流が生まれやすい事業を模索し実施していきます。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行政区単位での事業を実施するのが困難な状況であり、地域のコミュニケーションが薄れてきている。
施策の 方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・行政区民での一体感の醸成を図るため、レクリエーションスポーツの開催に努めます。・幼少年期、青年期、中年期、高齢期とあらゆる年代向けのスポーツ事業を展開するとともに、多世代の交流が生まれやすい事業を模索し実施していきます。

(2) 近隣市町村民や諸外国民とのスポーツ・文化・国際交流

<p>施策の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村や諸外国とのスポーツ・文化・国際交流は継続していきますが、特定の団体や個人に偏ることがないように配慮していきます。 ・柴田町・仙台大学・白石市との協働により 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の招致体制を整備していきます。 ・みやぎジュニア玉入れ選手権大会はすべて子どもが参加可能な毎年恒例の柴田町らしい事業として定着するよう支援していきます。
<p>現状・進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みやぎジュニア玉入れ選手権大会の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の検討が必要である。 ・2020 オリンピック・パラリンピックが開催されたが、今後において諸外国との交流する予定がない。
<p>施策の 方向性 (見直し)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の留学生とスポーツを中心とした交流会の実施に向けた取り組みを行います。 ・近隣市町村や諸外国とのスポーツ・文化・国際交流は継続していきますが、特定の団体や個人に偏ることがないように配慮していきます。 ・みやぎジュニア玉入れ選手権大会はすべて子どもが参加可能な毎年恒例の柴田町らしい事業として定着するよう支援していきます。

II スポーツ活動を支えるスポーツ環境の整備

1 スポーツ関連組織体制の強化と各組織の連携

(1) 柴田町総合型地域スポーツクラブ（柴田町体育協会）の進展と中核化

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none">・若い世代の組織的スポーツ活動への参加が少ない現状と、多種目型スポーツクラブへの潜在的希望者は多いことから、柴田町総合型地域スポーツクラブ事業へ参加するよう働きかけます。・柴田町総合型地域スポーツクラブの安定的な運営のため、法人化に向けた調査・研究への支援を行います。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・クラブは設立後着々と会員数を増やしている。一方で、男性の参加率が極めて低く事業内容の再検討など工夫が必要である。・法人化について、他市町村や県スポーツ協会から情報を提供していただき調査・研究している。・町組織または関係組織間で重複している事業もあり、調整が必要である。
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・町や関係組織が主催する事業内容を確認し、重複しているような場合は調整していきます。・多種目型スポーツクラブへの潜在的希望者は多いことから、柴田町総合型地域スポーツクラブ事業へ参加するよう働きかけます。・柴田町総合型地域スポーツクラブの安定的な運営のため、法人化に向けた調査・研究への支援を行います。

(2) スポーツ指導者等組織の再編成とスポーツ指導推進体制の強化

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ関係各種資格の取得者数及び資格種類等を正確に把握した上で、必要に応じてさらに上級を目指し、資格取得者数を増やすよう働きかけます。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・未実施
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ競技の指導者だけではなく、健康づくりのための指導者資格について調査し、情報発信に努めます。・スポーツへの理解を深めるために、スポーツ推進委員による情報発信に努めます。・総合型地域スポーツクラブなどと連携し、指導者のニーズに合わせたスポーツ教室の開催を奨励します。

(3) 各種スポーツ団体間及び地域団体とのネットワークの構築及び強化

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none">・柴田町体育協会や柴田町スポーツ少年団に所属する各団体間のネットワークや交流を促進します。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・柴田町体育協会の高齢化、担い手不足に伴い会員数は減少の傾向にある。・環境の変化により、同じ競技団体以外の団体間との交流が失われつつある。・スポーツ少年団も少子化に伴い団員の減少はあるものの体育協会に比べて大幅な減少はしていない。
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・柴田町スポーツ少年団等における単位団体同士のネットワークや交流を促進します。

2 多機能スポーツ施設等の効果・効率的な運用管理

(1) 既存体育・スポーツ施設の利活用

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none">・柴田町内公共スポーツ施設の利用件数や稼働率は高い状況にありますが、幅広くより多くの町民の方々に利用してもらえるよう効果・効率的な施設の運用管理体制を整備していきます。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・経年劣化により各施設の修繕が必要になっている。
施策の方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・既存公共スポーツ施設が安全に使用できるように、定期的に点検を行い、修繕や施設整備に努めます。・柴田町内公共スポーツ施設の利用件数や稼働率は高い状況にありますが、幅広くより多くの町民の方々に利用してもらえるよう効果・効率的な施設の運用管理体制を整備していきます。

柴田町スポーツ施設の利用実績（平成 26 年度と令和元年度の比較）

スポーツ施設名	年度	平成 26 年度	令和元年度	増減数	増減率
船岡体育館	利用件数	561	701	140	25%
	利用人数	16,597	15,478	△1,119	△7%
槻木体育館	利用件数	496	528	32	6%
	利用人数	7,749	7,791	42	1%
総合運動場 アステムチャレンジ スタジアム	利用件数	208	230	22	11%
	利用人数	13,610	13,400	△210	△2%
総合運動場 多目的グラウンド	利用件数	425	259	△166	△39%
	利用人数	20,845	17,501	△3,344	△16%
並松運動場	利用件数	416	633	217	52%
	利用人数	10,724	24,089	13,365	125%
阿武隈川運動場 野球場【注】	利用件数	206	154	△52	△25%
	利用人数	8,590	11,060	2,470	29%
阿武隈川運動場 多目的グラウンド【注】	利用件数	572	274	△298	△52%
	利用人数	25,323	10,820	△14,503	△57%
舘山テニスコート	利用件数	534	503	△31	△6%
	利用人数	5,036	5,569	533	11%
入間田テニスコート	利用件数	267	257	△10	△4%
	利用人数	3,624	1,934	△1,690	△47%
葛岡山テニスコート	利用件数	181	70	△111	△61%
	利用人数	1,526	484	△1,042	△68%
総計	利用件数	3,866	3,609	△257	△7%
	利用人数	118,440	108,026	△10,414	△9%

【注】：令和元年台風第 19 号の影響で令和元年 10 月から令和 2 年 10 月まで閉鎖による貸出休止。

(2) (仮称) 柴田町総合体育館の建設と円滑な運用

施策の 方向性	<ul style="list-style-type: none">・柴田町体育協会等のスポーツ関係団体と事前に施設の経営・管理に関する協議を重ね、体育館整備後すみやかに円滑な運用が図れるよう推進していきます。・すでに実施されている公の施設の指定管理者制度の現状に鑑み、本推進計画期間中には建設が予定される(仮称)柴田町総合体育館の指定管理者制度化を念頭に調整、研究を行います。
現状・進捗	<ul style="list-style-type: none">・官民連携による(仮称)柴田町総合体育館整備事業を進めており、令和6年度中の供用開始をめざし、民間事業者から企画・提案を募集している。
施策の 方向性 (見直し)	<ul style="list-style-type: none">・総合体育館の整備について、官民連携事業として設計、建設、維持管理、運営を行い、モニタリングしていくことで円滑な施設運営を行います。

資 料

- 資料1 柴田町スポーツ推進計画見直しの経緯
- 資料2 柴田町スポーツ推進審議会委員名簿
- 資料3 柴田町スポーツ推進計画策定委員名簿

資料1 柴田町スポーツ推進計画見直しの経緯

項目	時期	会議概要
諮問	令和3年6月10日	柴田町教育委員会から柴田町スポーツ推進審議会へ諮問
策定委員会の設置	令和3年6月10日	柴田町スポーツ推進計画策定委員会設置要綱に基づき設置
第1回策定委員会	令和3年7月20日	委嘱状の交付、委員長・副委員長の互選、経過報告等
第2回策定委員会	令和3年11月15日	柴田町スポーツ推進計画の個別見直し
第3回策定委員会	令和3年12月13日	柴田町スポーツ推進計画見直し（最終案）
パブリックコメントの実施	令和4年1月14日～令和4年2月12日	
計画書案の報告	令和4年2月14日	柴田町スポーツ推進審議会へ計画書案の報告
計画書答申	令和4年2月14日	教育委員会へ答申

資料2 柴田町スポーツ推進審議会委員名簿

(令和4年3月現在)

No.	氏名	職名	所属	摘要
1	半澤 和茂	柴田町ソフトボール協会監事	柴田町体育協会	
2	櫻井 正春	柴田町体育協会副会長	柴田町体育協会	
3	大沼 百合子	柴田町ビニールボール協会理事	柴田町体育協会	
4	南條 充寿	仙台大学教授副学長	仙台大学	
5	高崎 義輝	仙台大学教授	仙台大学	
6	大沼 良子	スポーツ推進委員	柴田町スポーツ推進委員	
7	茂木 悟	船岡中学校校長	柴田町校長会	

会長	半澤 和茂
副会長	高崎 義輝

資料3 柴田町スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

(令和4年3月現在)

No.	氏名	所属及び職名	摘要
1	安部 俊三	柴田町体育協会	スポーツ団体関係者
2	松田 松男	柴田町スポーツ少年団本部	スポーツ団体関係者
3	宍戸 直樹	町内小学校(船岡小学校)	教育・行政機関関係者
4	廣岡 大樹	町内中学校(船岡中学校)	教育・行政機関関係者
5	樋口 隆宏	柴田高等学校	教育・行政機関関係者
6	加茂 孝志	スポーツ推進委員	教育・行政機関関係者
7	高崎 義輝	スポーツ推進審議会委員	教育・行政機関関係者
8	八島 裕晃	柴田町社会福祉協議会	福祉関係者
9	永田 秀隆	仙台大学	学識経験者
10	馬 佳濛	仙台大学	学識経験者

委員長	安部 俊三
副委員長	永田 秀隆